



# 四日市テニスセンターで 男子プロ選手の国際大会を初開催

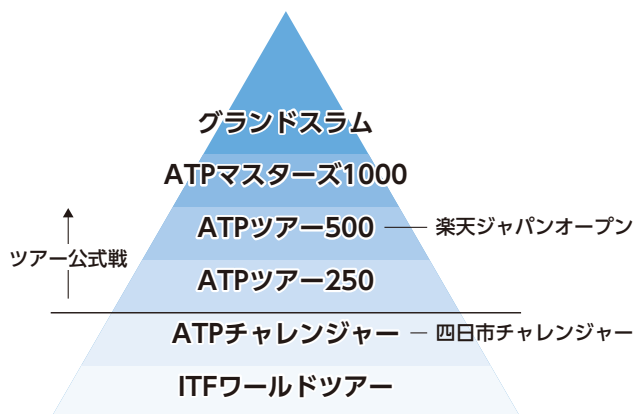


## 四日市チャレンジャーを初開催

8月5日～11日、テニスの男子プロ選手が参加する大会「四日市チャレンジャー」が、四日市テニスセンターで初めて開催されました。

ATP（男子プロテニス協会）は、四大大会（グランドスラム）を頂点とした下図のような構造になっています。国内の大会では楽天ジャパンオープンが上から3番目のATPツアー500に当たり、その他ではATPチャレンジャーが3大会あり、その内の一つが四日市チャレンジャーになります。

本大会では、世界ランク100～500位台の海外プレーヤーと日本のトッププレーヤーが出場しました。



## 全国有数のハードコート

2021年の三重とこわか国体に向けて、2018年5月に霞ヶ浦緑地に整備された四日市テニスセンターは、ハードコート16面を有する全国有数のテニスコートです。観客席1,017席のセンターコート、観客席470席のサブセンターコートのほか、屋外コートが6面、屋根付きコートが8面となっています。2018年インターハイにおいても、男子テニス競技の会場として使用されました。

## 東京五輪を見据えての開催

今回の大会は日本テニス協会主催で、サーフェス（コート面の材質）が東京五輪の会場と同じハードコートであり、暑さ対策などの選手強化を図れることから、四日市テニスセンターが会場に選ばれました。

連日の猛暑の中、体の奥の深部体温や心拍数などのテストデータを集めたほか、シャーベット状に凍らせたドリンクを摂取するなど、1年後の東京五輪を見据えた実践的な暑さ対策の効果が試されました。





# 四日市ゆかりの選手の大活躍で 大会は大いに盛り上がりました

## 実績のある選手も出場

今回の大会には、シングルス48人、ダブルス16組が出場しました。シングルスでは、2018年全豪オープンで四強入りしたチョン・ヒョン選手（韓国）や、ATPツアー優勝経験のある杉田祐一選手など、実績のある選手も出場しました。

## シングルス優勝は杉田祐一選手

シングルス決勝は、第5シードの杉田祐一選手と第2シードのJ・ダックワース選手（オーストラリア）の対戦となりました。1セットずつを取り合って迎えた最終セット、杉田祐一選手がゲームカウント1-4から6-6のタイブレークに持ち込み、タイブレークを7-1で制して四日市チャレンジャーの初代王者に輝きました。

また、ダブルス決勝は、ノーシードから勝ち上がったナム・ジソン/ソン・ミンギユ（韓国）ペアが、第1シードのジャン・ザ/ゴン・マオシン（中国）ペアを破り、大会を制しました。

## 地元出身の伊藤竜馬選手

いなべ市出身でジュニア時代に三重グリー

ンテニスクラブ（西坂部町）で練習していた伊藤竜馬選手は、シングルスに第3シードで出場。1セットも落とさず勝ち進みましたが、準決勝でJ・ダックワース選手に惜しくも敗れました。地元出身の伊藤選手には、試合が終わるたびに大勢のファンが集まり、サインや写真撮影に応じていました。

## 島袋将<sup>しょう</sup>選手の快進撃

四日市工業高校出身で早稲田大学4年の島袋将選手は、1回戦で第1シードの内山靖崇選手をフルセットの末に破り、そのままの勢いで第11シードのナム・ジソン選手（韓国）など格上の選手を次々と撃破。準決勝では杉田祐一選手に敗れましたが、ノーシードで四強入りするという快進撃を見せました。



# 「スポーツのまち四日市」に向けて

## 四日市チャレンジャーを終えて

男子プロ選手の国際大会は初開催でしたが、週末には多くの皆さんが来場され、選手が気さくにサインや写真撮影に応じるなど、選手と観客の距離が近いアットホームな大会になりました。

観客の皆さんからも、「このような世界的な大会が四日市で開催されて驚いた。地元選手の活躍に興奮し、毎日のように会場に足を運んだ。素晴らしい大会だったので、来年以降もぜひ開催してほしい」という声が聞かれました。

四日市市は、有望な若手選手を数多く輩出するなど、テニスが盛んなまちです。本大会も、四日市大学や高校（四日市工業、四日市商業、津商業）、中学校（常磐、三

滝、山手、光陵）のテニス部員の皆さんが、猛暑の中、ボールパーソンとして大会をサポートしました。

今後も、四日市テニスセンターにこうした世界的な大会を誘致し、「スポーツのまち四日市」として、スポーツを通じたシティプロモーションにつながるよう積極的に取り組んでいきます。



## 三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて

四日市テニスセンターは、2021年の三重とこわか国体の男子テニス競技の会場として使用されます。また、三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて、四日市市総合体育館や四日市市霞ヶ浦第3野球場の整備も進めています。

2020年の東京五輪、2021年の三重とこわか国体・三重とこわか大会と、今後ますます高まるスポーツ熱を、四日市全体で盛り上げていきたいですね。

